

調査速報

外食需要動向（2018年12月）

家計の実質外食支出は再び増加したものの、
トレンドは足踏み状態

主任研究員

佐橋 官

045-225-2375

sahashi@yokohama-ri.co.jp

要約

- 2018年12月の家計の実質外食支出金額は前月比4.6%増となり、前月の落ち込みから反発した。ただし、3か月後方移動平均で見たトレンドは足踏み状態である。
- 12月の外食産業売上高（名目値）は前年同月比2.1%増と28か月連続で前年同月の水準を上回った。客単価（同0.9%増）と客数（同1.2%増）が売上高を押し上げた。

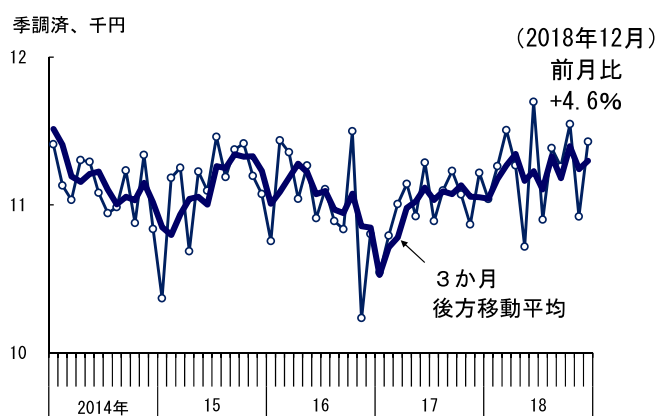
1. 家計の実質外食支出は一進一退の状況

総務省が2月8日に発表した2018年12月の「家計調査」によると、全国の1世帯あたり実質外食支出（2人以上の世帯、学校給食を除く、季調済）は前月比4.6%増となった（図表1）。前月（18年11月）の大手企業による大規模なキャンペーン後の落ち込みから反発したものの、18年中盤以降、実質外食支出は一進一退で推移しており、足元の3か月後方移動平均によるトレンドは足踏み状態である。

2. 外食産業売上高は28か月連続で前年同月の水準を上回る

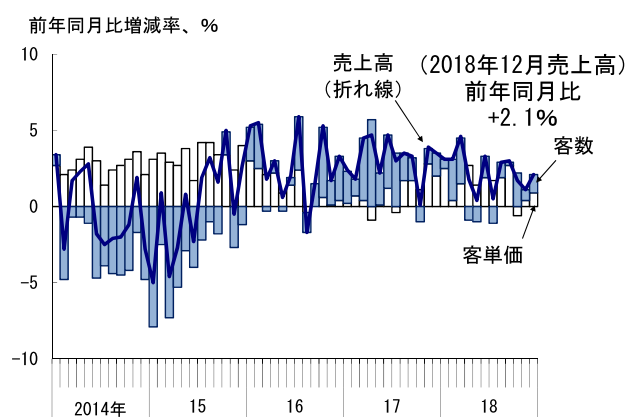
一方、一般社団法人日本フードサービス協会が2019年1月25日に発表した「外食産業市場動向調査」によると、18年12月の外食産業売上高（名目値）は前年同月比2.1%増と28か月連続で前年同月の水準を上回った。売上高の伸びを客数要因と客単価要因に分解すると、客単価（同0.9%増）と客数（同1.2%増）の両方が売上高を押し上げた。

図表1 実質外食支出は前月比プラス
（全国、2人以上の世帯、季調済）



注1：学校給食を除く外食（一般外食）。
注2：実質化と季節調整は浜銀総合研究所が実施。
出所：総務省「家計調査」より浜銀総合研究所作成

図表2 外食産業売上高は前年同月比プラス
（全国、全店）



注1：全店とは、既存店と新規店の合計。
注2：売上高と客単価は名目ベースの税抜き価格による比較。
出所：一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」

3. ファストフード業態とディナーレストラン業態が外食産業売上高の伸びをけん引

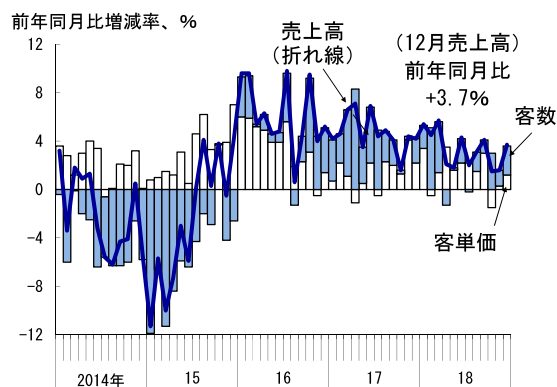
2018年12月の外食チェーン売上高を業態別にみると（図表3）、ファストフード（前年同月比3.7%増）とディナーレストラン（同3.0%増）が高い伸びとなり、外食産業全体の売上高の伸びを牽引した。ファストフードは季節メニューの拡充やクリスマス向けのチキンの販売が好調などであったことから、客数（同2.4%増）と客単価（同1.2%増）の両方が高い伸びとなった（図表4）。また、ディナーレストランは客数の伸び（同2.0%増）が堅調に推移している（図表5）。ファミリーレストランの一部が値上げや高付加価値メニューの投入等を進めており、結果としてディナーレストランとのメニュー価格差が縮小に向かっている。このような中、店舗のブランド力やサービス面で優位に立つディナーレストランの集客力が相対的に高まっていると推察される。

一方、居酒屋の売上高は3か月ぶりに前年同月の水準を下回った（図表6）。同業態では店舗数の減少が止まり、また、客単価は小幅ながら前年同月の水準を上回ったが、当月は集客の多い金曜日が前年同月に比べて1日少なかったことなどから、客数の伸びが前年同月比1.4%減となった。

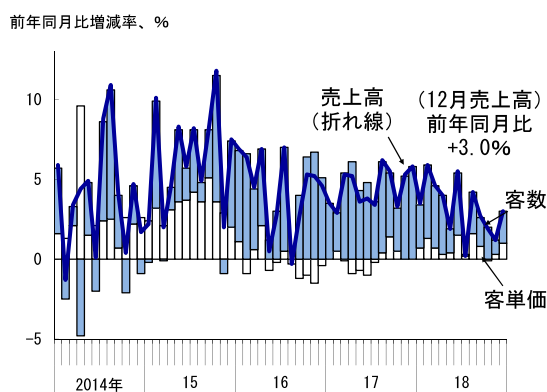
図表3 業態別の外食産業売上高（2018年12月、全店）

（前年同月比増減率）				
	売上高	店舗数	客数	客単価
全 体	2.1%	0.4%	1.2%	0.9%
ファストフード	3.7%	0.4%	2.4%	1.2%
ファミリーレストラン	0.3%	0.3%	-0.2%	0.5%
パブ・居酒屋	-0.6%	0.5%	-0.4%	-0.2%
居酒屋	-1.0%	0.4%	-1.4%	0.4%
ディナーレストラン	3.0%	-1.5%	2.0%	1.0%
喫茶	-0.9%	0.8%	-2.4%	1.5%
その他	0.1%	1.5%	-4.2%	4.5%

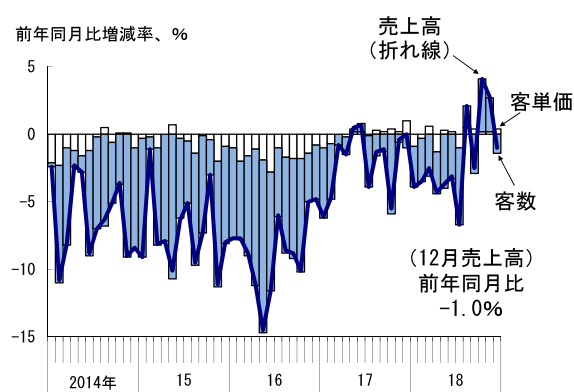
図表4 ファストフード売上高の推移（全店）



図表5 ディナーレストランの売上高の推移（全店）



図表6 居酒屋の売上高の推移（全店）



注1：全店とは、既存店と新規店の合計。

注2：売上高と客単価は名目ベースの税抜き価格による比較。

出所：一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。